

一般社団法人 徳島県作業療法士会
令和 3 年度 第 12 回理事会

日 時：令和 4 年 2 月 14 日 19：00～

場 所：ふれあい健康館 第一会議室 ハイブリッド開催

出席者：上田裕久、井上俊子、吉野哲一、奥野剛史、角野國雄、大浦江美子、佐尾山諭、
田中茂、舩越稔、秋山健太、

監 事：岡桃子、中野真二

欠席者：小森和樹、細川友和、新名大介、西山修平、

議 長：井上俊子

書 記：鶴熊洋樹

I. 報告事項

1. 次年度総会について

令和 4 年 6 月 13 日にてふれあい健康館 ホールを手配済み。対面式とハイブリッド式の両面での開催の予定で準備を進めていく

2. 県学会について

ZOOM を使用してのオンライン開催を行ない、参加総数は 176 名（会員 102 名、心理士 1 名、学生 73 名）だった。アンケートも実施し、回収率は 50%だった。アンケート結果としては特別講演やワークショップなど好評を頂き、今回のオンライン開催についても賛否ありつつ様々な意見を頂けた。次年度の県学会については四国学会担当のため開催しないが、今回の意見を今後の県学会運営に生かしていきたい。

3. 介護予防リーダー研修事業について

ハイブリッド形式にて開催し、参加人数は 26 名でリーダー研修事業修了者が 16 名だった。これでリーダー研修修了者総数が 297 名になった。また今回のアンケートにて総合事業への参加希望者を募った所、計 7 名の希望者があった。

4. 災害対策について

四国の各県士会で災害対策にあたっている方と各県の災害対策等についてのミーティングを実施。現在、日本作業療法士協会から災害訓練として安否確認を行っており、それらの返信率が低く、現状としては各県ともに 2～3 割だった。他県では Google フォーム等を使用しての災害確認を行っており、返信率を上げるための取り組みについて話しあった。また各県士会での災害対応についてもまばらであり、各県の地域性を考慮した上で当士会でも活かせる部分は活かしていきたい。

5. 「おしごと本」について

現在の作成段階として、身体障碍分野や精神科作業療法などに分けて内容を作成しており、今後は内容を精査していく。

Ⅱ. 審議事項

1. 総合事業について

上記のリーダー研修での総合事業への参加希望者の総合事業への参加について審議を行い、参加してもらう事で決定となり参加の手続きをすすめていく。

2. 次年度の計画について

各部局より現時点での計画についての報告あり。今回の理事会で未報告の所もあり、次回までに報告の上で、次年度の予算等を次回理事会にて審議していく。

3. とくしま災害時リハビリテーション圏域リーダーについて

徳島県より現在の圏域リーダーの任期が満了するのにあたって、次期圏域リーダーへの推薦者について審議を行う。前任の方の配置を調整したうえで、新規の方を推薦できるよう調整する。

以上を以って議題の審議等を終了し、議長が閉会を宣言し解散した。

この議事録が正確であることを証する為、出席した代表理事及び監事は捺印する。

令和4年3月14日

代表理事：上田 裕久

監 事：岡 桃子

中野 真二